

# ふるさと Something NEWS

第18回

## 東北復興にもチャレンジ・スピリットを！【中編】

一般社団法人 洗楓座  
一般社団法人 e f c o . j p 代表理事 佐藤建吉

「前号」「前編」から続く

▼台風15号による「9・9停電」



電線に掛かった倒木(高澤真氏提供)

原因と結果のつながりを教えられた。強靱性を持つと言われない。溝腐れ病の杉は、強靱ではなくなる。

### ▼国土強靱化が：

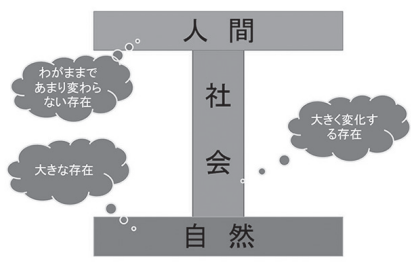
「国土強靱化」という言葉は、3・11のあつても混乱に至らず、回復が素早いことを意味する。「柳に風」や「柳には聞きなれない言葉と共に導入された。筆者は、大学院で「環境マネジメント論」なる講義を、レジリエンスの意味から紐解き、学生の課題としていたことがある。

### ▼法律vs放埒

「国土強靱化基本法」は、2013年に制定された。翌年6月に同基本計画が閣議決定された。2018年には、豪雨、台風、地震が頻発し、しかも、激甚化した。ちょうど5年経過したので、2018年12月に「2期目の基本計画」に改定され、3力年の緊急対策も盛り込まれた。この改定で興味あるのは、起きてはならない最悪の事態を例示している点である。その中から、拾い出すと、

### ▼レジリエントな社会

レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。



「レジリエントな社会」の説明図

### ▼ブルネル・スピリット

挑戦するエンジニア、ブルネル父子は、常に理想を掲げ、その実現のために、特許を取るためではなく、快適で、便利で、合理的なモノを求めて、世界にある先例を活かして、自らが設計し(デザインし)、美しく機能的な橋、鉄道、駅舎、トンネル、船、病院などを設計した。未来に通じる社会インフラの整備に努力した。「3・11」からの東北復興も、「9・9」の房総停電対策も、未来志向のブルネル・スピリットを活かしたい。

【次号へ続く】

2019年9月9日、未明に千葉県を襲撃した台風15号は、千葉県の南房総(南房)から北房総(北総)を縦断し、屋根を吹き飛ばし、樹木やゴルフ場のネットを倒し、停電・断水・鉄道不通・下水やゴミ問題などを引き起こした。夏場の停電は、冷房が働かず熱中症や体調不良を強い

た。また交通通信が動かず交差点事故も多発した。千葉県をはじめ広域で社会インフラとライフラインの甚大な被害の原因と結果は、「9・9停電」と呼んでもいいだろう。

筆者の材料の分野では、レジリエンスとは強靱性を指す。強靱(靱性が高い)とは、まさに強くてかつ粘りがあることをいう。それは、外力に耐える力が高く、しかも曲げやねじりなどの変形にも耐える特性を意味している。エネルギー的には、外力による変形を受けると、材料は内部にエネルギー(ひずみエネルギー)を蓄える。大きなひずみエネルギーを蓄えることができる材料が、強靱性があるということである。外力により、ポ

た。2013年に制定された。翌年6月に同基本計画が閣議決定された。2018年には、豪雨、台風、地震が頻発し、しかも、激甚化した。ちょうど5年経過したので、2018年12月に「2期目の基本計画」に改定され、3力年の緊急対策も盛り込まれた。この改定で興味あるのは、起きてはならない最悪の事態を例示している点である。その中から、拾い出すと、

レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。

挑戦するエンジニア、ブルネル父子は、常に理想を掲げ、その実現のために、特許を取るためではなく、快適で、便利で、合理的なモノを求めて、世界にある先例を活かして、自らが設計し(デザインし)、美しく機能的な橋、鉄道、駅舎、トンネル、船、病院などを設計した。未来に通じる社会インフラの整備に努力した。「3・11」からの東北復興も、「9・9」の房総停電対策も、未来志向のブルネル・スピリットを活かしたい。

長引いた「9・9停電」は、電気の重要性を再認識させたが、送電環境の脆弱さも露呈した。千葉県の南房総は、森林地帯である。羽田空港に降りる飛行機から眺めると、ゴルフ場と森林の広がり、千葉県らしさ、その特徴であるとな

る。千葉県の森林は、山武杉という銘木種が植林されたが、建築用材としては需要がなくなり、蔓延した溝腐れ病への対策もされず放置された。バイオマス資源としての杉林も特別に整備の経済効果を生まず、病んだ杉木は、強風に対する強度も低く倒木を誘発した。送電線に掛かり、停電原因となり、かつ停電の復旧を困難にさせた。思わ

れたい。これを評して「放埒」という言葉を創った。レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。

れたい。これを評して「放埒」という言葉を創った。レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。

れたい。これを評して「放埒」という言葉を創った。レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。

れたい。これを評して「放埒」という言葉を創った。レジリエントな社会は、便利な言葉でポジティブである。心理学の分野では、何らかの外乱や脅威のある状況においてもうまく対応する過程・能力・結果のこともレジリエンスという。粘り強い、理想を現実に仕上げることもいえる。筆者が「レジリエントな社会」として大学院の講義で図式化したのが、上図である。

連載・蓄電池